

令和元年度ふくおか「ふるさと寄附金」 活用状況報告書

ふるさと寄附金へのご協力ありがとうございました。



この度は、多くの皆様から多大なご寄附を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和元年度は、延べ 594 人の方から 6,597,410 円のご寄附をいただきました。

今回、寄附金の活用状況について、ご報告させていただきます。

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、県民生活「安定」「安全」「安心」の向上に全力を尽くしてまいりますので、今後とも福岡県を応援していただきますようお願いいたします。

福岡県知事 小川 洋

令和元年度にいただきました寄附金の受け入れ状況は、下表のとおりです。

	活用方法	件数(件)	寄附額(円)
0	福岡県の施策全般	147	1,827,005
1	平成29年7月九州北部豪雨からの復興	192	1,916,005
2	バイオ・メディカル産業の振興	7	60,005
3	県産農林水産物の販売・消費の拡大	16	150,005
4	移住定住の促進	6	50,005
5	子どもの貧困対策	57	570,930
6	いじめや不登校等への対応	13	160,005
7	国際的視野を持つ人材の育成	6	50,005
8	男女共同参画の推進	5	40,005
9	高齢者が元気で活躍する社会の推進	4	70,005
10	障がいのある方の収入向上と社会参加の推進	6	43,005
11	世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承	6	50,005
12	ジュニアアスリート指導者の育成強化	5	40,005
13	ふくおかスポーツ振興プロジェクト	101	1,000,005
14	暴力団の壊滅に向けた対策の推進	7	50,405
15	豊かな自然と生物多様性の保全	11	100,005
16	外国大学への留学を目指す若者への支援	5	420,005
	合計	594	6,597,410

寄附金の活用状況について、一例をご紹介します。



福岡県
マスコット
キャラクター
エコトン

1. 平成29年7月九州北部豪雨からの復興

- ・災害復旧と併せて、河川の改良工事や砂防施設の設置を行い、災害の再発防止を図りました。
- ・仮設住宅等からの引越費用、民間賃貸住宅入居費用の助成を行うなど、被災者の住宅確保を支援しました。



2. バイオメディカル産業の振興

- ・バイオ関連企業の一大大集積拠点の形成による久留米地域を中心とした産業振興を目指し、製品・技術開発に対して助成しました。(研究開発助成数 育成成型5件、実用型2件)



3. 県産農林水産物の販売・消費の拡大

- ・首都圏、関西圏、県内等において博多和牛や天然魚、あまおう等を使ったフェアを開催しました。(開催店舗数 延べ678店舗)
- ・海外7か国(地域)の量販店等において、販売促進フェアを延べ39回開催するとともに、バイヤーの招へいや商談会出展、市場調査を実施しました。



4. 移住定住の促進

- ・首都圏をはじめ県外からの移住を促進するための相談窓口「ふくおかよかよか移住相談センター(東京、福岡)」において、相談を受けるとともに、しごと、住宅、起業等に関する相談会やセミナーを実施しました。(相談件数3,125件、セミナー・相談会参加者数969人)



5. 子どもの貧困対策

- ・市町村が実施する生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯に対する放課後児童クラブ利用料減免に要する経費の一部を助成しました。(実施市町村56市町村)



6. いじめや不登校などへの対応

- ・高等学校の不登校・中途退学防止対策として、学業不振や学校不適應に悩む生徒等の学業継続を支援するため、私学団体が行う学習支援事業に対して補助を行いました。



7. 国際的視野を持つ人材の育成

・将来、長期の海外留学や調査研究又は海外勤務等の多様な活動を起こすきっかけを作るため、県内の高校・大学等が主催する海外体験プログラムに対して支援を行いました。(支援プログラム数 13 (高校9、大学等4)、参加者数 183 人)



8. 男女共同参画の推進

・地域で活動する女性の実践力を高めるための「女性による元気な地域づくり応援講座」を実施しました。(受講者数 184 人)



9. 高齢者が元気で活躍する社会の推進

・「福岡県 70 歳現役応援センター」では、高齢者の活躍の場を開拓するとともに、専門相談員が再就職やボランティア活動等、一人ひとりの希望に合った進路を提案、あっせんし、進路決定を支援しました。(求人開拓件数 1,568 件 (577 社)、相談者数 20,457 人、登録者数 2,252 人、進路決定者数 1,678 人)



10. 障がいのある方の収入向上と社会参加の推進

・県内の障がい児者による絵画・書道・写真作品を募集し、入賞作品の制作者を表彰するとともに、県庁及び県内の文化施設で展示しました。
・デパート催事場で、県内の「まごころ製品」を一堂に集めて5日間販売しました。(参加施設数 57 施設、来場者数 14,785 人)



11. 世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承

- ・明治日本の産業革命遺産
世界遺産としての価値を紹介する解説付きパネル展や構成資産等を巡るスタンプラリー開催しました。(パネル展参加者数 6,477 人)
- ・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
沖ノ島遠望船をはじめとした遺産群周遊イベントを開催、パンフレット・ホームページの充実、公開講座の開催、来訪小中学生用ワークブックの作成といった広報啓発を行いました。



12. ジュニアアスリート指導者の育成強化

・県内の優れた指導者による指導法を競技団体で共有する取組みを実施した26競技団体に指導者の活動経費を助成しました。
・トップアスリート輩出の育成システムを後押しするために、指導者を海外派遣した1競技団体に派遣旅費等を助成しました。



13. ふくおかスポーツ振興プロジェクト

- ・ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたキャンプ地の誘致に取り組みました。(キャンプ受入市町村数 13 市町)
- ・ラグビーワールドカップ2019開催までの気運醸成、広報PRの取組の結果、福岡会場で行われた3試合は、国内外からの観戦客でいずれもほぼ満員となりました。また、大会期間の会場周辺の交通渋滞・混乱を防ぐための取組として、テレビCMや交通広告等による事前周知を実施するとともに、大会の盛り上げとして、博多駅構内をラグビーワールドカップの広告で埋め尽くすジャック広告をはじめとした、街中の装飾を実施しました。



14. 暴力団壊滅に向けた対策の推進

- ・県民の安全確保に万全を期した上で、暴力団に対する取締りを徹底し、工藤會傘下組織組長や道仁會傘下組織幹部等多数の暴力団員を凶悪事件、資金源犯罪等で検挙したほか、工藤會傘下組織等の暴力団事務所の撤去や、県内の学校における暴力団排除教育の実施、暴力団組員の社会復帰対策を強化する等、総合的な暴力団対策を推進しました。(暴力団構成員の検挙者数 166 人、警察支援による暴力団からの離脱者数 104 人、警察支援による就労者数 17 人)



15. 豊かな自然と生物多様性の保全

- ・英彦山及び犬ヶ岳地区で増加したシカによる食害から絶滅危惧植物の保護を推進するため、ニホンジカの捕獲等を実施しました。(シカ捕獲頭数 272 頭)
- ・絶滅危惧植物の種子の採取、冷凍保存、苗の植え戻し等を実施しました。



16. 外国大学への留学を目指す若者への支援

- ・福岡県の将来を担い、豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持って、国際的に活躍する人材の育成を推進するため、外国大学に留学している福岡県内の青少年を対象に奨学金を支給しました。(奨学金支給人数 11 人)



ふくおか「ふるさと寄附金」トピックス

- ・令和2年度のお礼の品の見直しを行い、寄附金額毎（1万円以上、3万円以上、5万円以上、10万円以上）に県産品を選定しました。



※写真はお礼の品の一部です。

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県庁総務部税務課管理係
電話：092-643-3062 FAX：092-643-3069
電子メール：furusatokifukin@pref.fukuoka.lg.jp
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県 ふるさとチョイス

検索